

## 国立健康危機管理研究機構（JIHS ジース）メディアセミナーの ご案内

■共催：高田塾<sup>※</sup>・国立健康危機管理研究機構（JIHS）

■日時：2026年5月25日（月）18:30~20:30

■会場：日本プレスセンター10階 プレスセンターホール 東京都千代田区内幸町 2-2-1

■テーマおよび演者：

【1】HIV感染症とAIDSの治療・予防薬開発の過去・現在・未来～AZTからイスラトラビルまで～

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所所長 満屋 裕明

【2】新型コロナウイルス感染症の現状と将来のパンデミックへの備えの状況

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター副院長 / 国際感染症センター センター長

大曲 貴夫

**参加費は無料です。5月21日（木）まで事前登録をお願いします。**

**ご来場の際は、本案内状をご持参ください。**

国立健康危機管理研究機構（JIHS）では、高田塾<sup>※</sup>と共催で、2026年5月25日（月）18:30からメディアセミナーを開催いたします。テーマは二つです。

テーマ【1】では、国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所長満屋裕明より、去る4月21日、日本発のHIV-1感染症治療薬として、アメリカ食品医薬品局（U.S. Food and Drug Administration FDA）に初めて承認された「イドビンソ<sup>®</sup>配合錠（一般名：ドラビリン/イスラトラビル水和物）」の開発を中心にHIV/エイズ治療の現状などについて解説いたします。

テーマ【2】では、国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター大曲貴夫副院長より、世界の感染症対策に多くの教訓を残し、国立健康危機管理研究機構（JIHS）設立のきっかけにもなった、新型コロナウイルス感染症の現状と将来のパンデミックへの備えに関し解説いたします。

国立健康危機管理研究機構（JIHS ジース）メディアセミナーの概要は次頁の通りです。

※高田塾：

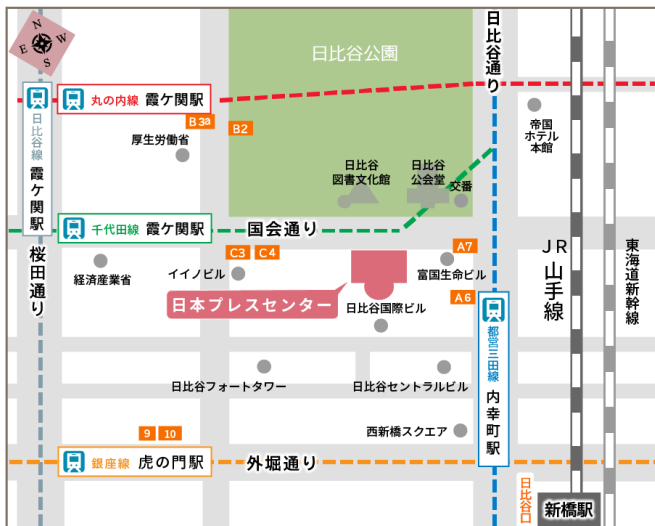
日本テレビ客員解説委員の高田和男氏が主催する医療問題や医療政策をテーマにした勉強会。現在2か月に一度開催され、医療関係者、報道関係者、政治家などが参加。医療の様々な課題についての講演・議論・意見交換の場として開催されています。

2009年3月から開催され、今回は103回目の開催となります。

高田氏は、現在、国立健康危機管理研究機構（JIHS）の理事長広報顧問です。

－ 国立健康危機管理研究機構（JIHS ジース）メディアセミナー開催概要 －

- 共 催：高田塾・国立健康危機管理研究機構（JIHS）
- 日 時：2026年5月25日（月）18：30～20：30 ※受付開始 18:00
- 会 場：日本プレスセンター10階 プレスセンターホール 東京都千代田区内幸町 2-2-1




■ テーマおよび演者：

- [1] HIV 感染症と AIDS の治療・予防薬開発の過去・現在・未来～AZT からイスラトラビルまで～  
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 所長 満屋 裕明
- [2] 新型コロナウイルス感染症の現状と将来のパンデミックへの備えの状況  
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 副院長 / 国際感染症センター センター長  
大曲 貴夫

■ お申込み：下記フォームよりお申し込みください。

(お申込フォーム) ※5月21日(木) 締め切り

[国立健康危機管理研究機構（JIHS ジース）  
メディアセミナー参加受付フォーム](#)



国立健康危機管理研究機構（JIHS  
ジース）メディアセミナー参加受付フォー  
ム

【本件に関する問い合わせ】

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 広報管理部  
Tel : 03-3202-7181 E-mail : [press@jihs.go.jp](mailto:press@jihs.go.jp)